

11/4 河川氾濫を想定した総合防災訓練を実施（北九州市）

○市内の紫川、東谷川及び板櫃川に対する想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図が今年4月に福岡県から公表されたことなどを踏まえ、北九州市小倉南区長行校区において、河川氾濫を想定した総合防災訓練を実施した。
○長行校区の住民270名が町内会毎に集合して避難する訓練を実施したほか、防災関係機関による救助救出訓練を実施した。
また、今回は、「見て・触って・体験して」をテーマとし、災害時に直面する様々な出来事を「体感・体験」しながら学ぶことをコンセプトとした市民体験型の防災訓練を実施した。



地域住民が協力して
要配慮者の避難を支援

地域住民が集合して避難所（長行小学校）に避難



自衛隊

警察
DMAT

消防

防災関係機関が連携し救助救出訓練を実施



パネル

避難所生活体験
ブース

体育館のブースを仕切るパネルに、紫川・東谷川の
洪水浸水想定区域図などを展示し来場者に啓発



展示した仮設トイレ等で実際に座ったりして体験